

松下光宏氏製作

ミニチュア・ストリート



平成 26 年 7 月 1 日 (火) ~ 9 月 30 日 (火)

松下光宏氏が写真を元に厚紙で製作した建物を母屋で展示します
展示室では 「川柳作家 櫻井思案坊展」を開催しています。あわせてご覧下さい。



(上段左から) 消防署
高取城と高取城下
岡八幡宮 転法輪寺
その他、近内御霊神社
福德寺なども展示します

下段
登録有形文化財
「藤岡家住宅」
全体像

〒637-0016 奈良県五條市近内町 526 (☎と fax 0747・22・4013)

NPO法人うちのの館 info@uchinono-yakata.com・ホームページはうちのの館(やかた)へ

登録有形文化財「藤岡家住宅」(うちのの館)

午前9時~午後4時 月曜日休館 大人300円・小人200円 20名様以上2割引です。

藤岡家所蔵の「柿本人麻呂像」

たまきはる宇智の野に残る万葉の資料から

平成二十六年六月八日〜九月三十日

藤岡家住宅にて展示しております



藤岡家所蔵「人丸聖神像」鎌倉時代 頓阿法師作

頓阿法師作 杉の一材で彫り出した一木造りの柿本人麻呂像。三輪山の神木と言われる杉の木で作製されたものです。箱は弘化4年（1847）五條市常楽院の第十代住職の時代に造られています。昭和の時代に藤岡玉骨が購入したようです。この人麻呂像の作者・頓阿（とんあ 正応2年（1289） - 文中元年/応安5年（1372））は、鎌倉時代後期から南北朝時代の僧・歌人。浄弁（じょうべん）・兼好（けんこう）・慶運（けいうん）とともに二条為世門の和歌四天王と称された人で、複数製作された内の一であると思われます。藤岡家には他に 福岡青嵐明治12年（1879）～昭和29年（1954）の描いた人麻呂像（軸）も所蔵しています。旅をする人麻呂を描いた優れた作品です。これも藤岡玉骨が作者から購入しています。玉骨は「ホトトギス」派の俳人として知られていますが、京都三校、東京帝国大学の学生の間は与謝野鉄幹・晶子に師事して「明星」に所属していました。藤岡家には鉄幹・晶子をはじめ優れた短歌が多数残されています。歌会の時に人麻呂像を置く慣わしがあり、玉骨もそれを意識して人麻呂像を蒐集したのでしょう。

NPO法人うちの館の名前の由来は、この地域で詠まれた万葉歌です。藤岡家近くの荒坂峠に建つ万葉歌碑「たまきはるうちの大野〜」（巻一・3）をめぐる資料とともに展示しています。万葉歌碑が建立された昭和46年、当時大分大学教育学部音楽科の教授であった辛島武雄氏がこの歌のために作曲した譜面も、楽しい資料です。

荒坂峠の万葉歌碑とその拓本

